

墨の質感を損なわないドローイングツールの提案

A Proposal for a Drawing Ink Tool That Preserves the Feel of Traditional Ink



ペン先の安定性と墨の魅力

滲みや霞など墨の表現には「道具」が大きく影響しています。墨の魅力を引き出す道具として筆が主流の中、他にも墨の魅力を扱える道具はないのかと疑問を持ちました。そこで、柔らかい毛先の筆とは対照的に穂先が安定しており、持続的に描けるドローイングツールの提案を行いました。

Reliable Tip of the Pen and Magic of Traditional Japanese Ink

"Tools" have an enormous impact on ink expressions such as bleed and haze. Brushes are still considered the most popular tool to bring out the beauty of sumi – traditional Japanese ink. In my project, I investigated alternative instruments to funnel the sumi's captivating qualities. As a result, I came up with a drawing ink tool proposal with a stable tip, unlike that of a brush, which allows for uninterrupted drawing.



ペンのような書き心地

ペン先を多孔質素材である植物の茎にすることで墨の粒子の通りが良くなり、先端の安定性と滑らかなインクの流れを実現しました。また、穂先は適度な柔らかさがあるためペンのような表現が可能となります。



描画のための構造

グリップ部にスポイトが内蔵されているため先端からのインクの補充と、出てくる墨の量を調節することが可能です。この仕組みによって、グリップ部を押す力加減で滲みなど多様な墨の表現ができるようになりました。

